

県内小学校での「落花生栽培体験学習」

「落花生」は不思議な植物です。

花が咲いたあと、どのように実をつけるか、児童の皆さんは、興味をもって観察をしていたのではないのでしょうか。

花の咲いたあとから子房柄（しぼうへい）という根のようなものが、何十本も地面の方にのびて、土の中に実をつけたのには驚いたことと思います。

私ども、公益社団法人 茨城県農林振興公社 穀物改良部では、では、「落花生」というふしぎな植物の栽培体験をとおして、「食」への関心をもってもらうことを目的として、この取組を行っています。

毎日の食卓にあがる食材が育った大地、水、空気、太陽、そして季節や風土の自然に対して、児童の皆さんに興味をもってもらえればうれしい限りでありませし、これからも大切にしてほしいものです。

令和2年度	29市町村	63校
令和3年度	29市町村	61校
令和4年度	26市町村	49校

で取組まれました。

落花生収穫のあと多くの児童の皆さんから感想文を寄せていただきました。参加された児童の皆さんから、土にもぐる落花生のふしぎ、土の中でさやができること、1株当たりのさやの数の多さなど、自然によって育まれる作物の素晴らしさ、命のふしぎさを感じられる感想文が多く寄せられたことに感銘を受けました。